



# わんわん クリーニング キャンペーン

人も犬も気持ちよく暮らすために

「わんわんクリーニングキャンペーン」は、路上に落ちていた犬フンやその他ゴミを拾い歩くことで地域の環境美化につなげると共に、動物の適正飼育の普及を目的とした動物愛護活動の取組です。

写真は、主催である町田動物愛護の会、東京都獣医師会町田支部、町田市保健所が取り組んだ際に撮影したもので、犬の飼い主にマナーの向上とルール徹底を呼び掛ける毎年の恒例行事となっています。

地域で取り組みたい等、わんわんクリーニングキャンペーンにご興味ある方は、ぜひ生活衛生課愛護動物係までお問い合わせください。

生活衛生課愛護動物係 ☎042-722-6727

掲載している名前付き写真は、飼い主募集中の保護犬・猫たちです。



## 犬・猫の 適正飼養について

### 犬の散歩について

犬は暑い季節が苦手な動物です。夏の散歩は朝早くか夜遅くの涼しい時間に行いましょう。日中のアスファルトの温度は約60度まで上がることもあります。地面からの照り返しによる熱中症や、熱い道路を歩くことで肉球がやけどすることもあります。

アスファルトは日が落ちて、急に温度が下がるものではありません。犬の健康を守ることは飼い主の義務です。夏のお出かけや散歩は時間帯や場所に注意しましょう。

### 猫の散歩について

近年、猫にハーネスやリードを付けて外出する飼い主が増えています。猫は犬と違い、散歩は必要ありません。知らない場所でパニックになり、飼い主を振り切って逃げてしまい、家に帰れなくなった猫の報告も増えています。

猫を外に連れていく際は、逃がさないように十分に注意しましょう。

※犬と違い、猫が通常ハーネス等を装着する機会はありませんが、災害が発生した際には逃走防止のためにハーネス等を装着するとより安心です。災害時等の必要な時にスムーズに装着できるように、習慣づけるようにしましょう。

## もし被災してしまったら

大きな地震などで自宅が倒壊したら。あるいは近くで火災が発生したら。自宅避難が不可能になったら、ペットとともに避難所に行くことになります。たくさんの動物が集まるかもしれない時のために飼い主さん一人ひとりが日頃からペットの病気予防をしておくことが大切です。そして避難所は、近所の方々とともに過ごす場所。近隣の方にはいつも挨拶を欠かさない。匂いや鳴き声などで迷惑をかけない。普段からそういう心配りをしておくことで、ペットとともに避難する場合も、受け入れてもらいやすくなるかもしれません。

## いつもと違う場所。ペットの心は不安でいっぱい！

自宅以外で、ほかの人や動物とともに過ごす非日常。動物たちもパニックしてしまいがちです。そんな時に、ペットと飼い主さんの間に心のつながりがあれば、「飼い主さんが一緒だから、きっと大丈夫」「飼い主さんが笑顔だから、怖がらなくても大丈夫」と、犬や猫が思えば、パニックして逃げ出したり、物が食べられなくなったりという困りごとを、減らす助けになるはず。いつもと違う非常時こそ、日頃からお互いを思いやって仲良く暮らしていることが、大きな力となります。いざという時のためにも、今日も笑顔で過ごし、信頼感を育てることを心がけましょう。

# 暮らしのなかの ペット防災

今すぐできる備えとは②

## Vol.2

日頃の暮らしに「もし災害が起こったら」という意識をちよつとプラスすること。それがペット防災の第一歩です。

今回は、ペットと仲良く暮らすことの大切さを、改めて考えてみましょう。

シリーズ紹介 | いざという時のために備えておきたいことって、実は特別なことではありません。シリーズの2回目では、ふだんの暮らしの中で当たり前に行っていることが、被災時に役立つことをお伝えしました。覚えておいてくださいね！

筆者紹介 | 佐久間久美：日々の暮らしの中に取り込めるペット防災を考える、東京都動物愛護推進員

# 犬と楽しく ENJOY! コミュニケーション

気温も高く、地面も熱いうちはお散歩も限られた時間になります。

お散歩不足になりがちのときは、室内で犬と楽しみながら一緒に身体を動かしましょう。飼い主さんが上手に教えると犬も上手にできるでしょう。

## 室内のミニスラローム

### <準備するもの>

ペットボトル (500ml) と紙 (新聞紙見開き2枚を重ねて) (ペットボトルに紙を巻き付けてポールにする)

\*ペットボトルには水を入れて安定させる。

1 まずポールを2本立ててその間を通る。  
手にフードを持ち匂いについてくるように誘導する。  
通れたらほめてごほうびをあげる

2 ポールを1本増やして3本にする。  
同じやり方で連続して2本通れたらほめてごほうびをあげる

3 3本がスムーズにできたら同じやり方で1本ずつ増やしていく。

\*何本も置くスペースがなかったらUターンして  
\*リードをつけて、かるくリードで誘導しても良い。

### <注意点>

・あまりやりすぎないで、嫌になってくる前でやめます。(次回のやる気に繋がります。)

・スムーズに出来るようになったら手にフードを持たずに手だけで誘導します。

・出来るようになったらごほうびのフードは毎回ではなく、時々やるようにする。



執筆：町田動物愛護の会会長  
東京都動物愛護推進員  
ドッグトレーナー 森本 とも子

## 最新のお知らせ

### 町田わんにゃん譲渡会

主催 町田動物愛護の会  
日程 次回9月26日(日)10~12時  
内容 保護犬・保護猫の新しい飼主探し  
会場 保健所中町庁舎駐車場 月1回開催



### 譲渡会事前相談会、 飼い主のいない猫の相談会

主催 町田動物愛護の会  
日程 次回8月17日、9月7日・14日いずれも火曜日14時~15時  
会場 保健所中町庁舎1階講堂 月2回開催

### 猫の飼育講座

主催 町田市保健所生活衛生課  
日程 現在配信中です  
内容 猫の飼い方や健康管理、動物由来感染症について  
講師 獣医師会所属青木貢一氏



### いざというときに あなたとペットを守るために (ペットの災害対策セミナー)

主催 町田市保健所生活衛生課  
日程 現在配信中です  
内容 ペットと家族が災害を乗り越えるための準備と心得について考えます。  
講師 特定非営利活動法人アナイス理事長 平井潤子氏、獣医師会所属佐草優輝氏



### ペットも家族~こんな時どうする?

主催 町田市保健所生活衛生課  
日程 9月25日(土)14~16時  
内容 動物福祉から考える、災害や高齢化社会  
会場 町田市立中央図書館6階ホール  
講師 東京都動物愛護推進員・ドッグライフカウンセラー 佐久間久美氏

### 私の寄附で動物♡愛護!(ふるさと納税)

主催 町田市  
日程 随時募集しています  
内容 人と動物との調和のとれた共生社会実現のために、ふるさと納税のご協力をお願いします! 返戻品は、斉藤倫先生(本紙にて「ヒゲ猫博士」連載中)のイラスト入り感謝状です。市民の方でももらえます。



## ヒゲ猫博士 はかせ さいとうりん ④



※ペットの遺棄は犯罪です。見かけたら通報を!!

### 作者紹介

町田市在住の漫画家 斉藤 倫  
「ノーマンコ ノーライフ」(地域猫題材の漫画)や  
「路地裏しっぽ診療所」(動物病院が舞台の漫画)などが現在発売中

## 教えて! 改正動愛法 (令和3年6月施行 ver.)

令和3年6月1日より改正動物愛護管理法の一部が施行されました。劣悪な環境で犬猫を飼育・管理する悪質なペットショップやブリーダー等の動物取扱業者を排除し、ペットを取り巻く環境を改善することが狙いです。

犬猫を扱うペットショップやブリーダーに対する規制が厳しくなったよ。

cagesの広さや従業員1人当たりの飼育数などの管理方法に数値基準が導入されたよ。

ほたるー

生後56日以下の子いぬと子ねこの販売が原則禁止されたんだよ。

早くに親元から離すと、病気にかかりやすくなったり、ほえ癖や咬み癖などの問題行動につながる可能性があるんだ。



生涯出産回数や交配時の年齢も決められたわね。出産は母体にもリスクがあるから、年齢制限ができてよかったわ。



お母さんと過ごす時間が体や心を丈夫にするのね。問題行動を理由に飼育放棄されるペットが少なくなりますように。



より詳しい情報は保健所のHPをチェックしてね

飼い主は愛情と責任をもって  
ペットの最期まで一緒にしよう



## 「ズーノーシス」って? (オウム病) について



- 病気の特徴(症状)
  - ・突然の発熱(38℃以上)で発症し、咳や痰を伴います。
  - ・初期症状は悪寒を伴う高熱、頭痛、全身倦怠感などで、インフルエンザのような症状を示します
  - ・高齢者等では重症になりやすく、呼吸困難・意識障害などを起こします
- 感染経路
  - ・インコ、オウム等のフンに含まれる菌を吸い込んだり、口移しでエサを与えることで感染します
- 予防
  - ・インコ、オウム等に口移しでエサを与えない等、濃厚な接触を避けましょう
  - ・ケージ内の羽やフンをこまめに掃除し、鳥の世話やケージの掃除をするときは、マスクや手袋をしましょう
  - ・鳥を飼っている人が治りにくい咳や息苦しさ等の症状を感じたら、オウム病を疑って受診し、鳥を飼っていることを医師に伝えましょう

### CHECK

猫は狭くて暖かい場所を好みます。止まっている車のエンジンルームに入り込み、ドライバーがそれに気づかずエンジンをかけて発車してしまうことで、猫が命を落とす事故が発生しています。

車に乗る前に、ボンネットを叩いたり、扉を強めに開閉するなどして、中に隠れている猫を逃がしましょう。長期間使用していない車は定期的にボンネットを開けて中を確認しましょう。

